



核廃絶 1200万署名の推進を決意

10月24日を全国統一行動日に 日本原水協常任理事会ひらく

日本原水協第288回全国常任理事会が9月17-8の2日間、東京で開かれました。会議には44都道府県、17中央団体などから88人が参加しました。

高草木事務局長は「09年原水爆禁止世界大会が『核兵器のない世界』をめざす流れをいっそう強固なものとするために、国際的な運動の強化と被爆国日本の運動が固く連体しすることで、展望が開かれる確信に溢れた大会になった」ことを報告。そして来年のNPT再検討会議にむけ核保有国に対し、核兵器前面禁止・廃絶のための合意と交渉を求める国際的な運動を大きく発展させることが求められていることを強調しました。そのためにも「核兵器のない世界を」署名1200万筆を被爆国日本の運動として成功させることの重要性を訴えました。

鳩山新政権に被爆国の政府として、核兵器廃絶の先頭にたち、イニシアチブの発揮を要請したことを報告しました。

討論に先立ち宮崎県都城で自治体ぐるみの「核兵器廃絶署名」運動の教訓が報告され、討論では120万目標で30万到達、NPTには全国で130人を超える参加も(民医連)、500万達成に頑張る(全労連)、全

国でさまざまな取り組みが展開中、200万はやれそう(新婦人)自治体が大きく変化、首長・議長の署名進む(岩手、福島、埼玉等)など多彩な経験がほこくされました。常任理事会では10月の行動として10月6・9日の両日の6・9行動と、国連軍縮週間の10月22-23日に政府、各国大使館要請中央行動、24日全国統一行動日、11月28-9日NPT代表派遣・1200万筆署名促進全国推進会議の開催など当面行動を確認しました。



高梁 浅口市で「非核日本宣言」の意見書採択

県下各市町村の9月定例議会が終了しましたが、高梁市と浅口市で新たに「非核日本宣言」を政府に求める意見書が採択されました。高梁市では08年6月市議会で否決されていましたが、高梁原水協が9月議会にむけ改めて陳情

していたものです。また、浅口市では09年平和行進を取りくむなかで陳情していたものです。

両市の採択の結果、県内27市町村のうち20の市町村で意見書採択がおこなわれました。

78期岡山労働学校 核ZERO教室のご案内

- *期間 09/10/1(木)~12/6(日)
- *基本時間 18:30-21:00
- *会場 岡山市勤労者福祉センター
- *受講料 10,000円(単発参加1500円)
- *申込み・問い合わせは
岡山県労働者学習協会 086-232-3738
岡山市北区春日町4-26

カリキュラム

- 10/1(木) 「なぜ広島と長崎に原爆が投下されたのか」
- 10/8(木) 「8月6日ヒロシマ被爆の実相」
- 10/15(木) 「8月9日ナガサキ被爆の実相」
- 10/17(土) ふれあいコンパ(実費)
- 10/22(木) 「ヒバクシャの心の傷を追って」
- 10/29(木) ビデオ学習「被爆者空白の10年」NHK制作
- 11/5(木) 「内部被曝 そのメカニズムと脅威」
- 11/12(木) 「1954年ビキニ二事件-冷戦下の核開発・核実験」
- 11/15(日) 日帰り企画(実費)「ヒロシマフィールドワーク」
- 11/19(木) 「原水爆禁止運動-世界を動かす草の根の力」
- 11/26(木) 「被爆者運動の歴史と現在」
- 12/3(木) 「日米軍事同盟と核密約」
- 12/5(土) 終了式&終了コンパ(実費)
- 12/6(日) 修了記念講演「核兵器ZEROへー世界が動き始めた」・川田忠明氏(日本平和委員会常任理事)